

2. 組合としての取組と実施事業

コロナ禍では非対面型・非接触型が求められる一方で、既存客からは従来通りの対面型の講座を希望する声も寄せられていたため、講座事業をデジタル化・オンライン化すること、コロナ対策を講じて安心して受講出来る環境を整備することで、講座事業の継続が出来るのではないかとまずは味噌作り講座から、新たな事業実施方法を開始した。

まずは、講座のオンライン配信の開始である。これまでは対面で行っていた講座をオンライン化することで、自宅などから受講でき、コロナの感染リスクを無くすことが出来る。YouTubeやZOOMでの配信にも対応し、受講者のスタイルに応じた柔軟な対応を出来るようにした。ZOOMでの配信は、企業や県外のカルチャー教室からの依頼があり、新規顧客の獲得にも寄与している。

次に少人数で行うプライベート型講座を開始した。これまでは外部依頼のみで実施していた講座を自社主催・自社開催を開始し、コロナ対策として、家族や友人グループなど少人数などを対象に行っている。事業所内に講座を出来るスペースを確保し、コロナ対策として、パーテーション、換気機能付きエアコン、次亜塩素酸空気清浄機を設置して、安心して受講出来る環境を整備した。

最後にSNSを活用した情報発信である。コロナ禍に新たに始めた取り組みとして、昨年度よりSNSを活用した情報発信を開始し、Facebook、LINE、Instagram、YouTubeの4つで展開し、組合商品やレシピの紹介、イベントの情報などを発信している。

3. 補助金事業の内容

令和3年度の山形県中小企業パワーアップ事業費補助金(経営強靱化推進事業)に採択され、講座のオンライン予約システムを構築し、予約受付を開始した。従来は、電話やHPの問い合わせフォームから受け付けていたが、顧客から予約へのハードルが高いとの声が寄せられている他、顧客・従業員共に、申し込み後に行うやりとりの手間がかかるという課題を抱えていた。予約システムの構築で、上記課題の解決と、これまであまり力を入れていなかった新規顧客の開拓にもつながっている。

4. 今後の課題と対応

講座事業では団体客、特に小学校の親子学習会からの依頼が減少してしまい、徐々に戻りつつあるがコロナ前までの需要を呼び戻したい。

オンライン講座についても、現在は味噌作り講座のみを実施しているが、漬物作り講座と郷土料理講座のオンライン化も検討している。オンライン化でこれまでできなかった遠方からの依頼の増加を目指している。

また、昨年度より異業種とのコラボレーション企画を始めたが、より幅広い業種とコラボレーションを図ることで、組合商品のファンを増やし、客層の拡大を図っていきたい。

山形県スーパーTOTALサポ補助金活用事例



半澤 清彦 社長

株式会社半澤鶏卵

発表者:半澤 清彦 代表取締役社長

組織概要

所在	天童市高楯北2050
代表者	代表取締役社長 半澤 清彦
従業員数	60名